

## 【第10章:中世のヨーロッパとイスラム】

<中世のヨーロッパとキリスト教>

### ①中世のヨーロッパ

4世紀:ローマ帝国が東西に分裂(東ローマ帝国・西ローマ帝国)

5世紀:西ローマ帝国がほろび、諸国が分立

### ②キリスト教の広まり

ローマ帝国の国教:キリスト教

→ヨーロッパに広がり、人々の生活や考え方に大きな影響をおよぼす。

正教会:東ヨーロッパ

カトリック教会:西ヨーロッパ(ローマ教皇を中心)

→ローマ教皇が政治の上でも国王たちをしのぐ力を持つ。

## <イスラム世界>

### ①イスラム世界の拡大

7世紀:イスラム帝国がアラビア半島に成立

8世紀:中央アジアからイベリア半島まで勢力を拡大→フランスとの戦いに敗北し、西ヨーロッパ進出が止まる

9世紀:コーランを基礎として、イスラム法が整えられる

13世紀:モンゴル帝国の支配を受ける

15世紀:オスマン帝国がビザンツ帝国を制服

16世紀:インドにムガル帝国が成立

### ②イスラム世界の文化

古代オリエント・ギリシャ・ローマ・インド・中国など、様々な文明を取り入れた高度な文明が発達  
例)アラビア数字・火薬・羅針盤・印刷技術など

## <十字軍>

### ①十字軍の派遣

11世紀末:キリスト教の聖地エルサレムがイスラム勢力の支配下になる

→ローマ教皇の呼びかけにより、十字軍が派遣される。

→13世紀までになんども派遣されるが、エルサレムの奪還は失敗に終わる

### ②十字軍の影響

ローマ教皇の権威が失墜、資金も不足

→ヨーロッパ諸国の国王の権威が高まる。

イスラム世界の文化や中国・東南アジアの産物などがヨーロッパに伝わる。

## 【ルネサンスと宗教改革】

### <ルネサンス>

#### ①ルネサンス(文芸復興のおこり)

イスラム文化を経由して古代文化が再びヨーロッパへ

→14～16世紀のイタリアから西ヨーロッパを中心に、古代ギリシャ・ローマ文化を模範とする新しい文化がさかんになる。

ルネサンス:カトリック教会や封建的な慣習にとらわれず人間の自由・個性を尊重。

#### ②文学

|                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| <u>ダンテ(イタリア)</u>     | 「 <u>新曲</u> 」      |
| ボッカチオ(イタリア)          | 「 <u>デカメロン</u> 」   |
| セルバンテス(スペイン)         | 「 <u>ドン=キホーテ</u> 」 |
| <u>シェイクスピア(イギリス)</u> | 「 <u>ハムレット</u> 」   |

#### ③絵画・彫刻

|                    |               |
|--------------------|---------------|
| <u>レオナルド=ダ=ビンチ</u> | :最後の晩餐・モナ=リザ  |
| <u>ミケランジェロ</u>     | :最後の審判        |
| レファエロ              | :アテネの学堂       |
| ボッティチェリ            | :春            |
| ミケランジェロの彫刻         | : <u>ダビデ像</u> |

#### ④科学技術

地動説:16世紀半ば以降、天動説に対して、コペルニクスやガリレイが唱える

## <宗教改革>

### ①宗教改革の背景

11世紀末～13世紀末:十字軍の遠征失敗

→ローマ教皇やカトリック教会の権威が低下し、王や商人が勢力を拡大

→カトリック教会は免罪符を販売して資金を調達しようとする

→16世紀前半からカトリック教会の腐敗をただそうとする宗教家たちにより、宗教改革が始まる。

### ②宗教改革の内容

|                       |                                   |
|-----------------------|-----------------------------------|
| <u>ルター</u><br>(ドイツ)   | 1517年以降、聖書にもとづいた信仰の大切さを説く         |
| <u>カルバン</u><br>(フランス) | スイスのジュネーブで、人間は神の救いを信じて職業に励むべきと説く・ |

### ③宗教改革の結果

宗教改革の支持者はカトリック教会を離れ、プロテスタントと呼ばれるようになる。

イエズス会:プロテスタント勢力に対抗するため、カトリック勢力は改革をすすめ、ザビエルなどの宣教師を派遣し、中心となった組織

→アジアやアメリカ大陸などへの布教活動を行う

## 【大航海時代】

<新航路の開拓>

### ①大航海時代の始まり

15世紀からカトリック国のスペイン・ポルトガルが各地に遠征

→目的:アジアの香辛料・絹織物などを得るため。  
イスラム勢力に対抗するためにキリスト教を布教する。

**大航海時代**:ヨーロッパ人が新航路を開拓して世界に進出した時代

### ②主な開拓者

15世紀

コロンブス : 西インド諸島に到達

バスコ=ダ=ガマ: アフリカ大陸南端を通るインド航路を開拓

16世紀

マゼラン : 自分が率いる船隊が世界一周を達成  
※マゼランは途中で死亡

### ③アメリカ大陸の文明

アステカ王国: 現在のメキシコ中心に栄える

インカ帝国 : 現在のペルー中心に栄える

高度な石造建築技術: インカ帝国のマチュピチュなど

## <アジアへの進出>

ポルトガル: インドのゴアやマレー半島のマラッカを拠点としてアジア貿易を独占

スペイン : フィリピンのマニラを拠点とする

オランダ : 16世紀後半、スペインからの独立の動きが起こる  
→17世紀に東インド会社を設立し、アジアと貿易を行う。  
→ヨーロッパの商業や金融の中心として繁栄